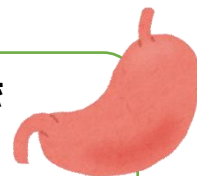


一生に1度は

胃がんリスク検診を受けましょう！

血液検査で将来胃がんが発生する危険度がわかります。
血清ペプシノゲンと血清ヘリコバクター・ピロリ抗体を調べ、
結果の組み合わせで、危険度をA～D群に分類します。
※検査は1度行くと、来年度以降行う必要はありません。

血液検査で
胃の萎縮
ピロリ菌感染
の危険度がわかります！



血清ペプシノゲン

胃粘膜の変化（老化度・萎縮度）

血清ヘリコバクター・ピロリ抗体

胃潰瘍や十二指腸潰瘍、
慢性胃炎、胃がんなどの原因

対 象：年度末に24、29、34、39、44、49、54、59、64、69、74歳になる方で
以前に胃がんリスク検診を受けていない方

検査方法：血液検査

（村のヘルススクリーニングを受ける方は、健診で採取した血液で検査を行います。）

日 程：ヘルススクリーニングの日程で時間指定

（10月10日以降にヘルススクリーニングの案内と一緒に詳しい案内をお送りします。）

費 用：無料（4,400円を村で補助します）

予約方法：以下のいずれかの方法で予約

①QRコード



検診調査票にも〇をお願いします。

② 役場保健師に電話（96-2211）で申し込みください。

QRコードから
8/22～9/19までの申し込みで
検診料が無料になります！

検査の受けられない方

以下に該当する方は、検査結果を正確に判定できない可能性があるため、検査を受けることができません。胃検診については、医療機関またはかかりつけ医でご相談ください。

- ① 過去にヘリコバクター・ピロリ菌の除去治療を受けた方
- ② 明らかな上部消化器症状（胃痛・腹痛・胃もたれ・食欲不振等）があり、胃や十二指腸の病気が強く疑われる方
- ③ 食道、胃、十二指腸の病気で現在治療中の方
- ④ 胃酸分泌抑制剤（プロトンポンプ阻害薬）を服薬中、または2か月以内に服用していた方
- ⑤ 胃の切除手術を受けた方 ⑥ 腎機能症状があると言われている方
- ⑦ 免疫不全・免疫低下といわれている、または、免疫抑制剤を内服している

南牧村役場 住民課
保健師 有坂 市川
TEL：96-2211